

「いのち」をテーマに文化発表会

3年生による演劇では、シェークスピアの大作「ハムレット」に挑戦！

**三加和中
里山だより**

和和水町立
三加和中学校
(和和水町板橋
1001)
文責：益崎

シヤガールの版画もやって来た！

去る十月二十二日、台風接近で天候が心配される中、熱気で荒天を吹き飛ばすように三加和中学校文化発表会が実施されました。全校生徒による写生大会作品をはじめとした各種展示作品の他、ステージ上では英語暗唱・シヨートスピーチ、意見発表、合唱コンクール、そして各学年からの劇と、熱演が繰り広げられました。中でも圧巻だったのは、



ハムレットを熱演する三年生

三年生による演劇「ハムレット」でした。シェイクスピアの有名な演目に果敢に挑戦し、見事に演じきった三年生の質の高い発表には目を見張るものがありました。また二年生は、迫り来る修学旅行での学びを予感させる発表内容で、一年生は日常に潜むいじめの問題を取り上げました。

この日のために二度の夜練をして臨んだPTAによる合唱も、ステージに花を添えていただきました。さらにこの日は武道場を会場として、スクールミュージアム(熊本県立美術館の移動展覧会)も開催されました。世界的に有名な浜田知明やシヤガールの版画が展示され、ホンモノの持つ

素晴らしさを存分に味わうことができました。

年を取るとなかなか自分の限界に挑戦しなくなるものです。私が最後に勝負に出たのは42歳の時の漢字検定でした。生徒が受けると聞き、やたらと燃えてきたのがきっかけでした。漢検対策本を買って猛勉強を始めました。

"挑戦"してますがあ？

〇日頃の学習の成果を目の当たりにし、とても感動しました。

〇劇の中に貫かれていた命(生と死)について深く考えさせられました。

〇高校紹介のパネルでは、「山鹿の高校のものも出してあったらいいのに」という声を聞きました。(※このパネルは玉名の四つの公立高校が合同で作成され、各中学校での巡回展示を依頼されていたものでした。)

小さな学校でもやればできる！

小規模校だからこそ豊かな体験のチャンスがプラス豊かになる

大きな学校では、文化祭や体育大会などの行事の際に、単なる「お客さん」になっってしまう生徒がたくさんいるものです。本校の文化発表会では、生徒たちに多くの出演と役割があり、様々な立場でたくさんのお客さんになることができます。

「何でもしなくちゃいけないってか、弱みとしてしまうのか、それがプラス思考とマイナス思考の差です。子どもたちをスクスクまっすく成長させるのも、ブレイキをかけた方がいいか、取組の成果にもそれを通した子どもたちの成長にも大きな差が出てきます。

小規模校で学ぶことを強みにするのは、弱みとしてしまうのか、それがプラス思考とマイナス思考の差です。子どもたちをスクスクまっすく成長させるのも、ブレイキをかけた方がいいか、取組の成果にもそれを通した子どもたちの成長にも大きな差が出てきます。

小規模校で学ぶことを強みにするのは、弱みとしてしまうのか、それがプラス思考とマイナス思考の差です。子どもたちをスクスクまっすく成長させるのも、ブレイキをかけた方がいいか、取組の成果にもそれを通した子どもたちの成長にも大きな差が出てきます。

秋の玉名路を力走

十月十八日、玉名荒尾中体連駅伝大会が、例年通り横島干拓コースで実施されました。

男女ともに力を振り絞りながら力走してくれました。特に女子は全十六校中七位と大健闘を果たしてくれました。



力走する〇〇〇〇さん



池田先生が受賞

本校の池田完治先生が、授業における指導力と、学校全体の学力向上の取組が認められ、熊本県教育功勞表彰を受賞されました。

去る十月二十八日、県庁において受賞式典が行われました。池田先生をはじめとした受賞者の功績が紹介され、宮尾千加子熊本県教育長から表彰状が手渡されました。

〇池田先生のコメント
「三加和中・小の先生方を代表していただいた賞だと思っております。」